

すま

1月
2017(平成29年)

すまほう通信



今月は「須磨海岸の日の出」を紹介するぼう

あけましておめでとう!みんなは、須磨海岸から日の出を見たことがある?晴れた日の早朝には、やしの木の向こうにとってもきれいな日の出が見られるんだぼう。今年のお正月は早起きをして、須磨海岸に日の出を見に行ってみよう!



【妙法寺】追儺式

市登録無形民俗文化財

五穀豊穰、除災招福、無病息災を祈って、鬼の一家がお伊勢参りする旅の様子を表しています。和太鼓やほら貝に合わせて松明を振りかざす勇壮な踊りは、災いを振り払い、福をもたらすと伝えられています。

日時 1月3日(火) 15:00~
場所 妙法寺(妙法寺字毘沙門山1286)
交通 市バス5系統「奥妙法寺」から徒歩約3分
☎741-2935



【大歳神社(車)] 翁舞

国指定重要無形民俗文化財

翁舞は、能楽の源流とされる中世芸能で、一般に「露払い」「翁」「三番叟」の3部構成ですが、車ではその後に「父尉」が加わる4部構成です。これは江戸時代初期の形態を伝えており、全国的にも極めて珍しく、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

日時 1月14日(土) 19:00~
場所 大歳神社(車)(車字松ヶ原551)
交通 市バス5・125系統「車大道」から徒歩約5分
☎741-2700(同保存会会長 椿原 勇氏)
※2面SUMA CAFÉに車の翁舞の紹介をしています。



古より受け継がれる 須磨の民俗芸能

地域の方々の努力により古より須磨の地に受け継がれし民俗芸能。今回は国や県、市に指定されているものを中心にご紹介します。これからも地域の魅力資源として共に守り育てていきましょう。

須磨琴

兵庫県重要無形文化財



須磨琴は、須磨が発祥とされている琴で、1枚の板に1本の絃が張られているため、一絃琴とも呼ばれています。平安時代に須磨にわび住まいをしていた在原行平が、拾った舟板に冠の糸を張り、岸辺の草を指にはめてかき鳴らしたことが始まりであると伝えられています。また、須磨寺には現存最古の須磨琴が展示されています。

ありわらのゆきひら
須磨琴は、須磨が発祥とされている琴で、1枚の板に1本の絃が張られているため、一絃琴とも呼ばれています。平安時代に須磨にわび住まいをしていた在原行平が、拾った舟板に冠の糸を張り、岸辺の草を指にはめてかき鳴らしたことが始まりであると伝えられています。また、須磨寺には現存最古の須磨琴が展示されています。

多井畑カネタタキ

市登録無形民俗文化財

毎年、旧暦の8月13日(平成29年は10月2日)に豊作を願って「奉献御明行事」が実施されます。行灯を先頭に列を成して村中を歩き、太鼓に合わせてカネを鳴らし、古くから伝わる唄を歌いながら多井畑厄除八幡宮へ宮入りする行事です。県下でも数少ない踊り念仏の原型を残したものです。



カネタタキに参加する子どもたちは、神事の前になると毎日、地域の方々に教わりながら歌、踊り、太鼓などを練習し、神事の当日にその成果を披露します。この経験は子どもたちにとって良い思い出になっており、今後もこの伝統行事を、地域で大切に守り育てていきたいと思えます。皆さんもぜひ見に来てください。



多井畑カネタタキ保存会 会長 久野木 啓太氏

【勝福寺】追儺式

市登録無形民俗文化財

昔、鹿松峠に鬼人が出現しては人を襲っていたため、藤原英雄丸(後の證樂上人)が峠付近にお堂を建て、祈祷し、鬼人を退治したという伝説があります。この時の鬼人退治の踊りだと伝えられています。

日時 1月7日(土) 18:00~
場所 勝福寺(大手町9-1-1)
交通 地下鉄・山陽電車「板宿」から徒歩約10分、市バス75・112系統「大手町勝福寺下」から徒歩約5分
☎731-1253



問 区まちづくり課 ☎731-4341 (内線215) FAX 732-0728



須磨区歴史講演会

須磨ゆかりの2つの150年記念講演!

無料

【要 事前申し込み】

~神戸開港150年・正岡子規生誕150年

2月26日(日) 13:30~15:45 (開場13:00~)

第一部 「神戸開港と須磨」 講師:西海 淳二氏(NPO法人須磨歴史倶楽部副理事長)

第二部 「子規と須磨」 講師:正岡 明氏(正岡子規研究所主宰)

場所 須磨区役所4階多目的会議室

定員 200名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法 往復はがきに「歴史講演会希望」と明記し、①代表者の氏名・ふりがな②年齢③住所④電話番号⑤代表者以外の参加者の氏名・ふりがな・年齢を記入の上、返信用はがきの宛名に返信先を記入し、☎へ。1枚のはがきで2人まで申し込み可

申込期間 1月9日(月・祝)~22日(日) 消印有効
当選結果は2月13日(月)以降発送

問 区まちづくり課 「歴史講演会」係 〒654-8570 (住所不要) ☎731-4341 (内線214) FAX 732-0728

